

審議会等会議録

会議の名称	令和7年度第2回加須市健康づくり推進委員会	
開催日時	令和7年11月18日（火） 午後1時15分から午後2時15分	
開催場所	加須保健センター 2階 集団指導室	
議長氏名	高野 千春	
出席委員	<p>【1号委員】武正 寿明（加須医師会長） 島田 顕（加須市歯科医師会長） 【2号委員】大隅 博文（騎西病院理事長） 【3号委員】石原 肇（自治協力団体連合副会長） 鈴木 君恵（かぞ地域女性会連合会長） 市川 邦夫（スポーツ協会会長） 水野 圭子（食生活改善推進員協議会長） 秋葉 正之（スポーツ推進委員協議会長） 内田 親（老人クラブ連合会長） 渡辺 清二（生涯学習市民企画委員会会長） 【4号委員】高野 千春（平成国際大学教授） 梅澤 義行（市民委員）</p>	
欠席委員	<p>【2号委員】中田 代助（中田病院院長） 湯橋 崇幸（十善病院院長） 西山 佳孝（西山救急クリニック院長） 板橋 道朗（済生会加須病院院長） 【3号委員】植竹 公子（母子愛育連合会長） 尾高 幸江（民生委員・児童委員協議会長） 神田 修（地域ブロンズ会議会長） 【5号委員】田中 良明（加須保健所長）</p>	
会議次第	<p>1 開会 2 委嘱状交付 3 あいさつ 4 議題 （1）加須市健康・医療・スポーツ推進計画の策定について （2）その他 5 閉会</p>	
会議資料の名称	<p>・令和7年度第2回加須市健康づくり推進委員会次第 ・加須市健康づくり推進委員会名簿 ・加須市健康・医療・スポーツ推進計画</p>	
会議の公開又は非公開の別	公開	
非公開の理由		
傍聴者の数	0名	
説明者の職・氏名	加須市 健康スポーツ部 いきいき健康医療課 すくすく子育て相談室 高齢介護課 学校教育課	部長 松永 勝也 課長 荒井 幸子 室長 小林 英憲 課長 高瀬 郁子 技師補 吉川 響
事務局職員 職・氏名	加須市 いきいき健康医療課	主幹 栗原 香 主幹 秋山 憲次 主査 横山 裕美子 主査 戸塚 紀子

会議録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記載 <input type="checkbox"/> 全文記録
その他必要な事項	

様式第3号（第8条関係）

発言者	会議の内容（発言内容、審議経過、決定事項等）
事務局（秋山主幹）	1 開会
角田市長	2 委嘱状交付
角田市長	3 市長あいさつ （市長退席）
高野委員長 内田副委員長	委員長・副委員長互選 委員長・副委員長あいさつ
高野議長	4 議題 （1）加須市健康・医療・スポーツ推進計画の策定について （2）その他 資料に基づき説明
高野議長	ただいま事務局から説明がありました。 何かご質問ご意見等ございましたらお願いいたします。 今回の会議は、市長からも説明がありましたが、枠組みが変わって横の連携をとっていくということ、今までと部署としては同じものを同じように担当していくけれども幾つかかぶっているところをきちんと寄せて、新たな指標をつくったということで、私も理解しておりますが何か具体的なところでご質問等ございますか。 そうしましたら、食育推進という項目がありますので、食生活関係からご意見ありましたらお願いいたします。
水野委員	食生活改善推進員協議会の水野と申します。 よろしくをお願いいたします。 今日は食生活についてというので、説明を聞いたのですが、とても自分たちの活動と直結をしているものがたくさんありました。 例えば市民まつり等で私たちは生活習慣病予防ということで、減塩と野菜をたくさん食べていただくということで、啓発活動をしていますが、この新しい計画を見ると、減塩についても、まだまだ道半ばだというふうに思いましたが、実際に市民の方々が食改のブースに寄っていただいている方々は、減塩や食生活について関心を持った方々がいらしているので、減塩についてはかなり意識が高いと感じていました。 しかし、今日のこの計画を見ますと、関心を持たれた方はそういうことを実践していきますけれども、一般市民という大きな枠にしてみると、まだまだこれからやることがたくさんあるなというのを思います。 さらに野菜をたくさん取りましょうということにつきましては、こちらの方が意識が結構低かったです。 ですから、生活習慣病予防するという観点につきまして、会員が80名いますが、その80名の会員とともに、各部署に持ち帰り、また各支部に持ち帰り、会員だけが意識を持って或いはそういう体験をするということだけでなく、市民の方を巻き込んでやっていく必要があるということを感じました。 説明を聞いていて、自分たちの活動と直結していてわかりやすかったので、これを参考に、会員にもお話をして、さらに加須市の健康、推進、或いは健康づくりに協力できるよう頑張っていきたいなというふうに思いました。 それから、保健センターの管理栄養士からも、高血圧、骨粗鬆症、腎臓病を予防しよ

	<p>うということで、いろいろお話を聞いたり、或いはそれを防ぐまたは進行させないためのレシピ等を教えていただいています、自分たちの足元だけでとめておかず、さらに多くの方々に触れていただいて、そして、健康推進・健康寿命の延伸ということに、役立てていけたらいいなというふうに思いました。</p>
高野議長	<p>ありがとうございます。 枠組みが変わったことで、わかりやすくなったというご意見を、大変ありがたいなと思います。 また、歯・口腔の健康推進の取り組みというものがございしますが、島田委員の方から現状の注意して欲しいというような点でも結構ですので、一言お願いします。</p>
島田委員	<p>計画を見せていただき、歯科ではあまり数値のところは見たことないような、例えば今 40 歳以上の咀嚼良好者とありましたが、あまりこういった数字を見たことないのですが、歯科の立場から言わせていただきますと、先ほどお話にもありましたが、基本的に意識の高い方は、歯科検診の受診やいろいろな面でも参加する。 問題は意識の低い方をどう対応していくか。 ここに懸かっているわけですね。 それは低年齢から高齢者、全く同じ状況でして、各学校現場で見ても二極化が激しく、中には歯科健診を小中学校で 1 回も受けていない子がいたりします。 いかに歯のことについて関心を持たせるかが大事だと思いますので、もちろん学校現場での歯科検診、もしくは低年齢でも同じですが、加須市では成人歯科健診もありますので、その受診率をどう上げていくかで変わってくると思います。 現状で言わせていただきますと、昨年度から加須市の成人歯科検診は、前は通年検診を受けれたのですが、今年度から他の検診と同じく 12 月から 5 月は受診できないので、そういった制限とか無償化という問題をもう少し考えていただけたら、受診率の向上にも繋がるかなというところですね。</p>
高野議長	<p>はい、ありがとうございます。 市川委員どうぞ。</p>
市川委員	<p>医師がいるのでワクチンのことを聞きたいのですが、私たちスポーツ協会としましては、人数が集まるということは大いに危惧されるものですから、これからのコロナ・インフルエンザの対策、そして、コロナワクチンはいくらでできるのか聞かれたことがあるので、今後何かのスポーツのイベントに向けて知っておきたいと思いますので、アドバイスをお願いしたいと思いますよろしくお願いします。</p>
高野議長	<p>はい、ありがとうございます。 武正委員から回答いただければと思います。</p>
武正委員	<p>インフルエンザワクチンは、加須市の場合 65 歳以上の方は補助がありますので、1,000 円でできます。 コロナワクチンについては、昨年度は 1,000 円でできましたが、国からの補助がなくなっていましたので、それでも加須市は頑張っていたいて、9,300 円で受けることができます。 それ以外の 64 歳以下の方に関しては、インフルエンザワクチンについては各医療機関で設定があると思いますが、普通に考えて 3,000 円から 5,000 円の間ぐらい、コロナワクチンについては、15,000 円から 16,000 円ぐらいというのが相場じゃないかと思いますが、コロナワクチンの場合は、ワクチンそのものが高価なので、ワクチンの値段が下がらないことにはどうにもならないというのが現状です。</p>
高野議長	<p>ありがとうございます。 救急の方から大隅委員お願いいたします。</p>
大隅委員	<p>救急に関して言えば、あまり申し上げることはないかと思うのですが、新しく骨粗鬆</p>

	<p>症の検診も始まり、痛みが出てきてから受診する方というのはやはり多く、前もって調べておいていただくと、非常に治療しやすいかなというところで、骨粗鬆症の治療に関しては歯科検診もかなり関わってきますので、検診を受けていただく方を増やしていただくということがすごく大事なかなと思います。</p>
高野議長	<p>はい、ありがとうございます。 他に何かご意見ご質問等ございますか。 もしよろしければ、枠組みの変わったところで、横のライフコースがある中でスポーツとの関連もあるかなと思いますので、スポーツ推進員協議会の秋葉委員、何かございますか。</p>
秋葉委員	<p>今回、健康づくり推進の取り組みということで、新しい項目と目標値、これが変わっているなというふうに感じまして、中でも今まで1日の歩数の平均値ということで現状値は5,000歩なのですが、これを目標7,000歩ということで、かなり上がっているなというふうに感じました。 また私どもも、つい先日15日に、健康ウォークということで事業をやりまして、280人ぐらいの参加者がおり、渡良瀬遊水地で行ったのですが、歩くことに対しての意識を持っている方がいらっしゃるなというふうに感じました。 また、各地区でも健康ウォークに取り組んでいるなというふうに感じております。 今後もいろいろな事業を、スポーツ協会の石川会長もいらっしゃいますが、スポーツ協会の方と協力、タイアップし、このウォーキング関係を進めていけたらいいかなと思いました。</p>
高野議長	<p>ありがとうございます。 そろそろ時間も差し迫っていますが、先ほどの島田委員からのご意見にもあったように、健診を受けてくれる、或いはイベントに参加してくれるという市民の方々に対してはきちんと効果というか、状態が変わってきているけれども、そこに来ない人をどう引っ張り出してつなげていくかというところが全体を通しての課題なのかなというのを皆さんのご意見を伺って感じました。 本日は枠組みが変わったことの告知とそれに基づいた目標等の策定ということでしたので、特に他になければここで終了したいと思うのですが、ご意見等よろしいですか。 そうしましたら事務局から何かありますでしょうか。</p>
松永部長	<p>健康スポーツ部長の松永でございます。 本日はご意見ありがとうございました。 5つの計画がなぜ1本になったかというところがあるかと思いますが、1つは、資料3-1の3ページに計画策定の背景が書いてありますが、4段落目で埼玉県が令和6年度に健康事業計画、食育推進計画、歯科口腔保健計画、医療構想など、1本にまとめましたので、同じように市としてもまとめていくということでございます。 それと県は一緒になっていませんが、加須市では、スポーツが健康スポーツ部となりましたのでスポーツの計画も一緒に入れていくということでございます。 なぜそうなったかという、82ページに基本理念が載っておりますが、この5つの計画を1本にして、最終目標は何を目指すのかというところは、健康寿命の延伸です。 すべての健康は歯と口・食育・スポーツを行い、最終的には健康寿命を延伸していくと、目標値はそこにすべて向かっているということで収束しましたので、5つの計画をまとめたということでございます。 先ほど健康にあまり関心のない人たちをどう参加させるのかというのがありました。 水野委員からもお話ありましたが、ある程度の年齢の方は、健康に大変関心をお持ちですが、若い方、10代20代30代の方の中には、夜中にポテトチップスを食べて歯を磨かないで寝てしまうという方がいると思います。そういう方々に、若いから健康だという意識の中で、自分もそうでしたが、なかなか難しいところはあります。 しかし、健康診断もありますので、受診を促して、そこで改めて数値が悪いことを実際に目にすることで、良くなっていく部分があるのかなというところがあります。</p>

高野議長	<p>食に関して言えば、加須市は県内でも、高血圧、糖尿病、BMIの肥満症が、県内でも上位です。</p> <p>県内でも良くないという数値が出ていますので、そこは食育の減塩という形でやっていくとこれから改善されていくのかなというところがあります。</p> <p>いずれにしてもこの5つの計画が一本になり、これで今後進めて参りたいということですのでよろしくお願いいたします。</p> <p>はい、ありがとうございます。</p> <p>事務局から他に何かありましたらお願いいたします。</p>
秋山主幹	<p>事務局から次回の会議の予定についてご案内をさせていただきます。</p> <p>本日ご審議をいただきました、加須市健康・医療・スポーツ推進計画につきましては、今後年内を目途に、市民向けにパブリックコメントを予定しております。</p> <p>年明けに本日ご審議いただいた結果とパブリックコメントを反映した、最終的な計画案を作成する予定でございます。</p> <p>その後、来年1月中に、本日いただいたご意見の対応報告と、最終的な計画案のご意見をいただくために、今回のような対面の会議ではなく、書面協議、もしくはアンケートのような形で会議を開催したいと考えております。</p> <p>詳しい内容につきましては、年明け再度皆様にご案内をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>事務局からは以上となります。</p>
高野議長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは以上をもちまして、議事を終了し、議長の任を解かせていただきたいと思います。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p>
事務局（秋山主幹）	<p>5 閉会 閉会を宣言</p> <p>委員の皆様には慎重なるご審議をいただきまして誠にありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、令和7年度第2回加須市健康づくり推進委員会を閉会いたします。</p> <p>皆様ご協力ありがとうございました。</p>

会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和7年 11 月 27 日

署名

高野 千春